

巨大地震の被害を予想し、地域住民が自らどのような行動すれば被害が少なくなるかを考えます。

～『DIGファシリテーター養成講座 in 奈半利町』の開催～

高知県安芸郡奈半利町において災害図上訓練（DIG:Disaster Imagination Game）のファシリテーター養成講座を開催します。

この講座は、地域の防災関係者が防災リーダーとなってDIGを実施し、地域の防災意識を高めていただけるようDIGファシリテーターを養成するものです。

※DIGファシリテーターとは、DIG（災害図上訓練）を進行し、参加者からの意見を促し、引き出し、議論を盛り上げていく進行役。

●開催場所：高知県安芸郡奈半利町 奈半利町保健センター

●講座日時：平成25年11月17日（日）9：00～17：00

●講師：常葉大学 社会環境学部 准教授 小村 隆史

●参加予定者：高知県奈半利町、田野町、安田町在住の防災関係者、約30名程度を予定

なお、本取り組みは、平成19年度より四国東南海・南海地震対策連絡調整会議の取組として実施しており、また、国の機関や地方公共団体のみならず、学識経験者や地元経済界など48機関が認識を共有し、四国が一体となって取り組むべき事項を示した「四国地震防災基本戦略」にも位置付けられています。

この施策は、四国広域地方計画「No6防災向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

平成25年11月14日

四国東南海・南海地震対策連絡調整会議

問い合わせ先

高知県 危機管理部 南海地震対策課 チーフ 吉岡 重雄
TEL 088-823-9317

○ 国土交通省四国地方整備局 企画部防災課 課長 上林 正幸
TEL (087) 811-8310 (ダイヤル)

○：主な問い合わせ先

開催概要:平成25年度DIGファシリテーター養成講座

- 日 時 平成25年11月17日(日)9:00~12:00、13:30~17:00
- 主 催 東南海・南海地震対策連絡調整会議(高知県、四国地方整備局)
- 場 所 奈半利町保健センター
- 講 師 常葉大学 社会環境学部 小村隆史准教授
- 参加予定 高知県奈半利町、田野町、安田町在住の防災関係者等、約30名
- 内 容 ① オリエンテーション
② 揺れ・津波によるダブルパンチを理解しよう(DIG体験その1)
③ DIGを用いたワークショップの手順を理解しよう(講義)
④ 次世代に残す故郷を考えよう(DIG体験その2)
⑤ 所属組織におけるDIGの企画を考えよう
※内容については、現時点の案であり、変更の可能性があります。

●DIGとは・・・?

➤ **DIG** とは、災害図上訓練 (Disaster Imagination Game) のことで、**大きな地図を参加者全員で囲み、災害対策のイメージトレーニングを実施するもの**です。

➤ 大人から子供まで参加者全員で「わいわい、がやがや」と語り合いながら、課題を発見し、災害対応を検討するためのトレーニングです。

➤ 地域や学校、事業所で実施する事により、**防災意識の高揚のみならず、コミュニティ(地域相互支援ネットワーク)作り**に役立つとされています。



●開催履歴

開催年度	開催場所	開催年度	開催場所
平成19年度	高知県安芸市	平成22年度	高知県香南市
平成20年度	徳島県美波町	平成23年度	高知県土佐清水市
平成21年度	高知県宿毛市	平成24年度	高知県黒潮町
平成22年度	高知県南国市	平成25年度	高知県奈半利町

参考：平成24年度開催概要

DIGファシリテータ養成講座開催〔in 高知県 黒潮町〕

●演習概要

- 日 時 平成24年12月2日(日)9:00～17:00
- 主 催 東南海・南海地震対策連絡調整会議(高知県、四国地方整備局)
- 場 所 高知県立幡多青少年の家
- 参加者 高知県黒潮町、消防、自主防災会、小・中・高教諭
- 参加人数 48名

講師：常葉大学
社会環境学部 小村隆史 准教授



DIGについて説明



求められる対策についての検証



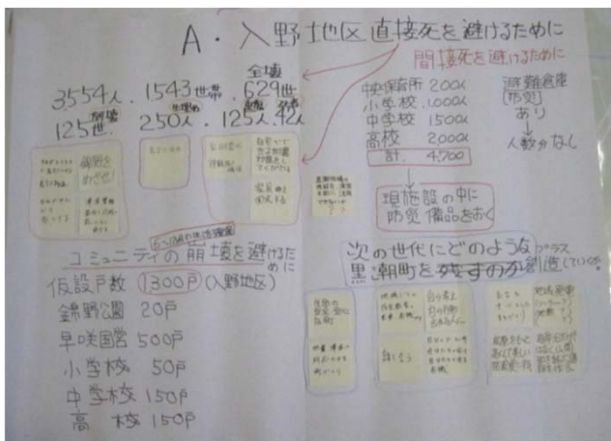
津波の侵入経路、浸水深の確認



黒潮町の主な施設と標高の確認

養成講座【4つの大きなテーマ】の成果

- ・直接死を避けるために
- ・間接死を避けるために
- ・コミュニティの崩壊を避けるために
- ・次の世代にどう黒潮町を渡すのか

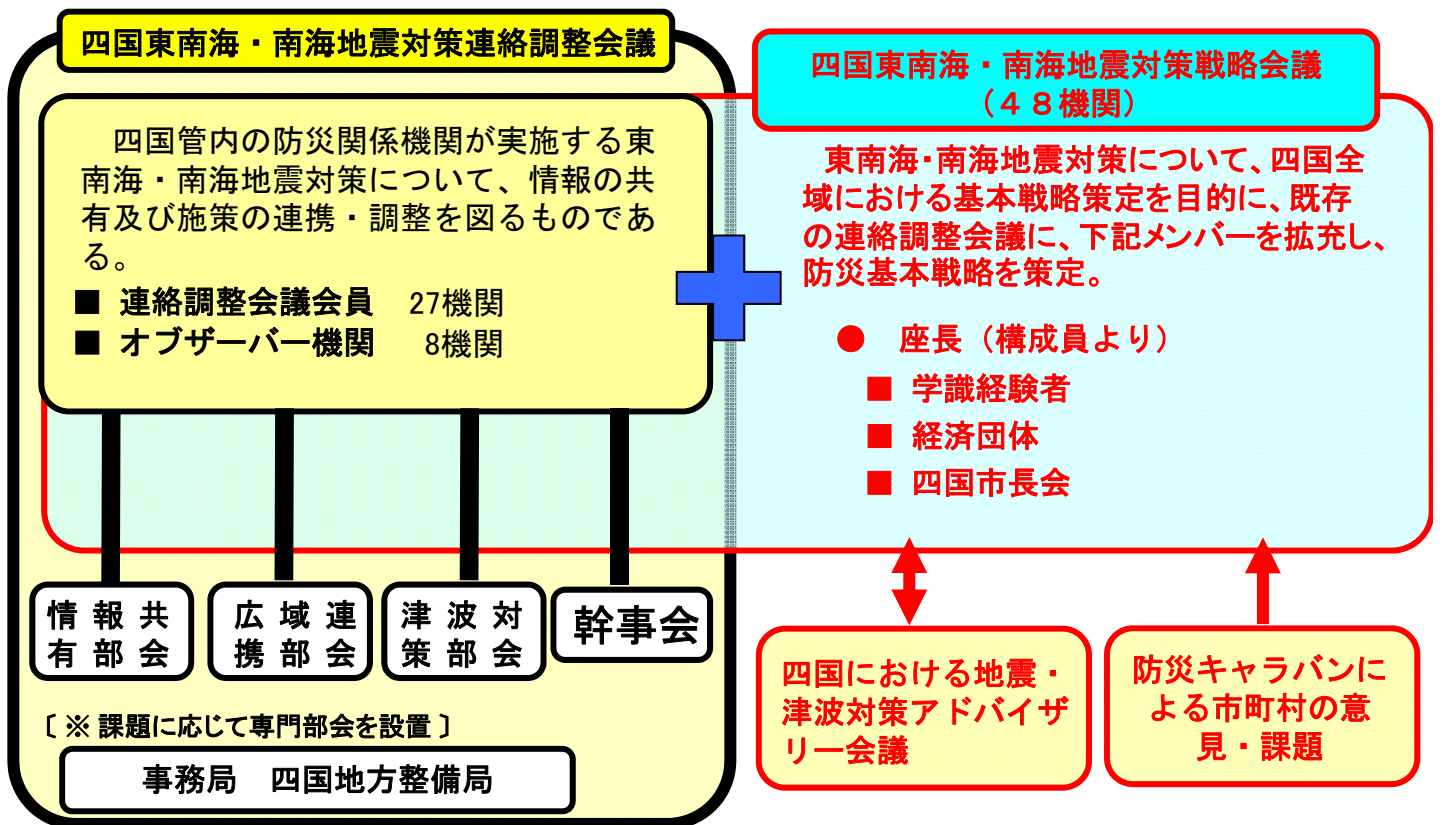


養成講座【参加者の声】

- 今後の業務を進める上で大変参考になりました【黒潮町役場職員】
- 生活設計までは考えていませんでした。今後の指導の中にも盛り込んでみます。【黒潮町立小学校教諭】
- 次の世代(子供たち)にどう伝え残していくのか。今後特に重要な事項と考えられること、学んだような気がします。非常に良い研修でした。【黒潮町役場職員】
- 自主防災組織としての消防団のありかた、その視点で町全体のことも考える、いいきっかけとなった。【黒潮町消防団員】
- 地域が災害に対して、どれほどの強さを持っているか、現状認識という意味で良かった。【黒潮町消防団員】

四国東南海・南海地震対策連絡調整会議について

○四国東南海・南海地震対策連絡調整会議は、四国管内の防災関係機関が実施する東南海・南海地震対策について、施策の連携・調整を図ることを目的に平成17年度に設立。その後、東日本大震災を踏まえ、学識経験者、地元経済界等メンバーを拡充し四国東南海・南海地震対策戦略会議を立ち上げ、四国が一体となって取り組む事項を示した「四国地震防災基本戦略」を平成23年12月に策定。



□四国東南海・南海地震対策戦略会議メンバー(48機関) ※青字は連絡調整会議からのメンバー(35機関)

【国の地方支分部局】20機関

四国管区警察局、四国総合通信局、四国財務局、高松国税局、四国厚生支局、中国四国農政局、林野庁四国森林管理局、四国経済産業局、原子力安全・保安院中国四国産業保安監督部四国支部、四国地方整備局、四国運輸局、大阪航空局、国土地理院四国地方測量部、気象庁高松地方气象台、海上保安庁第五管区海上保安本部、海上保安庁第六管区海上保安本部、中国四国地方環境事務所、陸上自衛隊第14旅団、海上自衛隊呉地方総監部、中国四国防衛局

【地方公共団体】9機関

徳島県、香川県、愛媛県、高知県、
 徳島県県警本部、香川県県警本部、愛媛県県警本部、高知県県警本部、
 四国市長会

【経済団体】2機関

四国経済連合会、四国商工会議所連合会

【学識経験者】6名

四国旅客鉄道株式会社 相談役 梅原利之、徳島大学名誉教授 村上仁士、香川大学工学部教授 白木渡、
 愛媛大学名誉教授 柏谷増男、高知大学農学部教授 大年邦雄、香川大学名誉教授 井原健雄

【その他の機関】11機関

全国消防庁四国支部、日本銀行高松支店、西日本高速道路(株)四国支社、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、日本貨物鉄道(株)四国支店、西日本電信電話(株)四国事業本部、(株)NTTドコモ四国支社、(独)水資源機構吉野川局、四国ガス(株)、本州四国連絡高速道路(株)